

ともに先へ、先へ。

民主党 参議院比例区第65総支部総支部長

参議院議員 えさきたかし



はじめに・・・この「えさきたかしの「がんばるバイ」」は、僕の国会活動、おもしろい話や、えっと思ったことなどを気ままに綴って、各県本部へ月1回程度のペースで配信します。どうぞご利用ください。

えさきたかしの「がんばるバイ」No1



【参議院議場に今からはいるところ】

今日から秋の臨時国会がスタート。菅総理は今日の所信表明演説の冒頭で新内閣を「有言実行内閣」とし、「先送りしてきた重要政策課題に今こそ着手し、次世代に遺さないで解決していかなければならない。それが有言実行に込めた私の覚悟」と決意を述べました。そしてその前提として「地域主権改革の推進」の重要性を挙げました。「本当に先送りはできない」・・・と本会議場で総理の演説を聴きつつ国会議員としての責任を痛感し、自らの心に誓ったのでした。でも自民党席からのヤジがすごかった。たまたま演説の声がききとれないことも。終って先輩議員に聞くと、「民主党の方がすごかった」のだそうです。「まだ自民党は野党なれてないから上品」だとか。今日よりひどいっていうのは相当すごい。もうちょっとちゃんと聴いても良いと思うのですが。

その本会議場の僕の席は、議長席のほぼ正面の空席も含め前から4列目。僕の後ろには席は無く通路です。国会というところは完全年功序列制。第1に当選回数順です。回数を重ねるごとに座席は後ろに下がります。第2は年齢順。同じ当選組でも年上の方が後ろになります。民主党席は議長に向かって中央から右一帯。その民主党席をさっきの順で議長に向かって右から順番に割り振られます。次の選挙までこの席（第109番席）で論戦に参加することになります。席に座ると目の前にあの四角柱の名札が倒れています。これを立てれば、出席したことが自動的に確認され、正面壁の電光掲示板の参加議員数が変わります。

さて、第1種常任委員会は第1希望の「内閣委員会」の配置となりました。希望した理由は公務員制度改革が内閣委員会で議論されるからです。心強いことに相原さんはこの委員会の理事です。第2種常任委員会は決算委員会を希望。これも希望通りでした。予算委員会はテレビ中継がありますが、新人議員は配置として委員会中ずーっと席に座っているだけ。テレビに映ることはあっても質問する機会はありません。これは大きい声で言えませんが、「ウトウトしない」つまり眠ったように見せないという大変な技術が必要。最初の臨時国会で経験しましたが、朝から夕方までの長丁場、これはなかなか大変です。

その点決算委員会は質問ができる、つまり議論に参加できる可能性が高いということを聞き、希望したのでした。特別委員会は「消費者問題に関する特別委員会」です。これに加え民主党の部門会議（部門会議は11。1議員で3会議に登録できる。登録したのは内閣、総務、厚生労働）や各議連（例えば「可視化議連」など）の会合に参加することになります。

9月14日の民主党代表選が終わり、菅新内閣以降の国会、つまり今臨時国会から本格的なねじれ国会の論戦開始です。公務員制度改革PTでもこれまで議論を闘わせてきましたが、これは前哨戦。これからが本番です。さあこうやって事実上の国会活動が始まりました。